

大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」 平成29年度 助成対象の研究の決定について

「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」は、大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施しているもので、大学・研究機関等における若手研究者の調査研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域の海域環境再生・創造に寄与することを目的としています。このたび、平成29年度の助成対象の研究について選考を行いました。本年度の選考結果は以下の通りです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会が務めました。

◆応募状況

平成29年4月14日～5月12日の募集期間において、「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に、14件の応募がありました。

◆選考委員会概要

開催日：平成29年6月2日（金） 15:00～17:00

神戸市勤労会館307

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 9名
(特定非営利活動法人瀬戸内海研究会企画委員)

選考方法：選考委員による採点及び選考委員会での審議

◆選考結果

選考委員会において厳正な審査が行われ、その結果、14件の応募のうち、今年度の助成対象として次表の10件の研究が採択されました。

表 助成対象の研究一覧

(申請者氏名50音順)

申請者氏名	所属名	研究課題名
1 秋山 諭	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 研究員	埋立てに伴う地形変化が大阪湾内部生産有機物の堆積過程に与える影響評価
2 石井 健一郎	京都大学 地球環境学 環境生命技術論分野 研究員	大阪湾底泥における珪藻類休眠期細胞の分布・発生とそれに基づいた有益・有害ブルーム識別評価 (その2)
3 上田 真由美	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 水産研究部 海域環境グループ 技師	真核従属栄養生物やプレズボカビ類の大阪湾における生態的影響力の解明
4 古賀 佑太郎	公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター 水環境科 研究員	大阪湾圏域の栄養塩管理に資する河川流入負荷量推計モデルの開発
5 小林 志保	京都大学大学院 農学研究科 助教	海色衛星観測データを用いた埋立地周辺を含む大阪湾における赤潮動態の解明 (その3)
6 田中 周平	京都大学大学院地球環境学 准教授	大阪湾におけるマイクロプラスチック汚染の現況把握と魚介類への影響に関する研究 (その3)
7 内藤 佳奈子	公立大学法人 県立広島大学 生命環境学部 准教授	大阪湾圏域における微量金属の分布と有毒有害プランクトン発生への寄与
8 中尾 賢志	大阪市立環境科学研究センター 研究員	大阪湾圏域の干潟におけるマイクロプラスチックの存在実態とその化学・生物学的影響 (その2)
9 山中 智之	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 研究員	大阪湾におけるクルマエビ科小型エビ類の資源動態と環境要因の関係性の解明～主要構成種交替のメカニズム解明を通じて～
10 山中 亮一	徳島大学環境防災研究センター 講師	海辺の環境再生活動の社会的価値算定に関する研究～尼崎運河を事例として～